

アメリカ合衆国
ケンタッキー州における地方自治体

京都大学経済学研究科 教授

田尾雅夫

2003年5月

Graduate School of Economics
Faculty of Economics
Kyoto University
Kyoto, 606-8501 JAPAN

アメリカ合衆国
ケンタッキー州における地方自治体

京都大学経済学研究科 教授

田尾雅夫

2003年5月

I ケンタッキー州の特徴

ケンタッキー州は、アメリカ合衆国の中部、シカゴ（イリノイ州）の南東に位置する。1792年に15番目の州になった。ウイスキーやたばこ、馬の生産地として著名で、アパラチア山地の西麓に位置する農業州である。南北戦争当時は、その境界にあたった。他州と比べると、政治的に保守的な土地柄とされる。

なお、歴史的には、バージニア植民地の一部(the Virginia County of Fincastle)として成り立ち、1776年に、現在のケンタッキー州の領域が(Fincastle Countyから分離させて)ケンタッキー・カウンティとして成立した。その後、人口が増えるとともに、その領域の中でいくつものカウンティができ、細分化されていった。注2)

II 地方自治の概要 注3)

ケンタッキー州の地方自治体は、他の州と同じように、カウンティ、シティ、および、特別区からなっている。近年、その違いは以前ほど明確ではなくなったが、それでも、カウンティは、州政府によって120に分割された地域(territorial entities)であり(図1)、それは、イギリス植民地時代の名残を残している。それは、裁判や税評価(tax assessment)、道路保全のような、本来、州政府の仕事を行っている。それに対して、シティは自発的につくられた実体(voluntarily created entities)で、その地域の住民が、シティとして限られた地域のなかで協働していること(incorporate a defined area as a city)を、州政府(the Circuit Court)がpetitionすることで、そこに存在することになる。シティとカウンティが併存する場合、シティは日常生活に関わるルーティンのサービス、カウンティは治安的な部分を担当することが多い。シティがその規模などに応じて、行政能力の程度がさまざまであるので、画一的な区分けはできない。

なお、シティにならない地域が州内にまだあるということである。そこでは、カウンティから行政サービスを受けることになる。追加していえば、ケンタッキー州は、他の州に比べると、シティが成り立っても、依然、カウンティの権限が大きいことが特徴であるとされている。

シティというのは、ある程度の人口の密集があり、その人たちに都市的な生活に必要なサービスを提供し、さらに、その人口の集住による規制や秩序の保持のためにできるものである。したがって、カウンティに比べると、シティのほうが、より広範に及ぶ影響を住民に与えているといえるであろう。シティが大きくなるほど、身近のシティ、やや間遠になるカウンティといえはよいであろう。歴史的にいえば、カウンティは州政府の機能を、代替的に遂行するだけである。それは、まだシティの成り立っていない農村部に影響を及ぼしている。注4)

シティを支えるムニシパリティとは、よりいっそう都市化した地域の必要に応じて存在していると考えられる。ムニシパリティには、警察を有することができることから明ら

かなように、大きな権限が委譲されている。それに付随して、カウンティの機能を越える、都市的な生活に必要な、健康や安全、福祉などのサービスを提供している。そのサービスは、警察、消防、救急、病院、ゴミ収集、街路、上下水道、食品管理、電気やガスの供給、公園やリクレーション施設の管理、ケーブルテレビ、図書館などに及んでいる。当然、これらのすべてを一つの地方自治体が提供できることではない。

これらのサービスを提供するために、シティは市内の資産や個人や企業に対して徴税を課したり、また使用料などを取ることができる。それを管理するために、市役所職員、とくに市長と議員は選挙で選ばれる。その働きは、地方自治体がどのような形式を採るかによって相違している（後述）。しかしながら、これらすべての地方自治体はそれ固有のものではなく（no inherent right）、そのパワーとは1891年以来の州憲法に定められ、ムニシパリティを支える法律（Kentucky's body of municipal statutory law）に由来するものである。これは、幾度か改訂され、近年では、ホームルールについてシティに大きく権限を賦与するとした1980年の改訂があった。1994年にもホームルールについて改訂があった。この背景には、カウンティから徐々にシティの権限を移そうという考えがあったと考えられる。なお、従来、カウンティのパワーが強いのが、この州の特徴でもあった。

III 基礎自治体

すべての地方自治体（特別区や学校区も含めて）は、州政府の法的な区分に組み入れられている（legal subdivisions of the state）。州議会は70年代から80年代にかけて、シティやカウンティがホームルールを制定して、州憲法や州法に抵触しなければ、自らのことは自ずからが決してよい、地方自治の原則を保証した。1994年には法制度として完備された。

なお、シティは、表1のような人口規模によって6つのクラスに分けられる。

表 1 シティのランク付け

第一位	100,000人～
第二位	20,000万人～100,000人
第三位	8,000人～20,000人
第四位	3,000人～8,000人
第五位	1,000人～3,000人
第六位	～1,000人

なお、シティとかタウンは便宜的な名称でしかない。相当数の集住はすべてシティとされる。この区分によって、同じランクにはほぼ同じ権限と同じ制約が課せられる。たとえば、第三位までのシティと、すべてのシティの議会議員は、そのシティの有権者によって選挙で選ばれる。第4位から第6位までの市長、あるいは、市政の管理責任者は選挙で選ばれることもあれば、任命されることもある。それ以外にも、以下に述べる財政や職員の雇用、権限の程度などランクに応じて制約の程度があり、そこから機能的な、さまざまな相違が生じている。ランクによって、そこに居住する住民がシティから入手できるサービスが相違することになる。

なお、ケンタッキー州では第一位のシティは人口26万人余のルイビル以外にない。

階層別の地方自治体については本論末尾に掲載した。人口規模が極小の基礎自治体が林立している。末尾の付表によって明らかなことは、極小の、いわば自治体の体をなしていないシティもあるということで、そのようなところは、実質的にカウンティの差配に置かれている。不足をカウンティが提供している。

シティの成立

では以上のようなシティがどのようにしてできるのかということである。人々の集住がやがて境界を定めることで、人工的な法的な実体(an artificial legal entity)としての地方自治体ができるのである。どのような要件がシティの成立を保証するのか。以下の要件を順次充たすことがシティとしての資格を得ることである。これらはすべて州議会によって法令化されている

1) 境界の変更、あるいは確定

一体化＝一つの組織になるためにまとまること(incorporation) であるためには、

1)住民は最低300人が住んでいなければならない。

2)隣接する領域があること

3)その組織人格をもった集団が、有権者やその地域に資産を有している人たちによって求められているサービスを提供できる合理的な方法をもっていること、逆にいえば、そのようなサービスを提供できる他の方法がないこと。

4)新しくつくられたシティが住民に対して、必要なときに必要なサービスを提供できること。

5)当自治体とその近隣地域が不当に嫌ったりしないこと
などを条件としている。

以上のことが充足されて、シティになることを認証されれば、次は、それがどのクラスに位置づけるか、前述のような区分(classification)がなされる。

しかし、シティの住民の陳情によって少なくとも1年間自治政府を支えることができなかったと判断されると、以下の2つの要件に照らし合わせて、その自治体は dissolution (解消) に向かわざるを得ないと、巡回裁判所(the Circuit Court)によって判断される。

1)必要な自治体関係者を選んだり、任命できなかったこと、

2)必要な徴税ができなかった

シティは、まだ人口がまばらの未編入の(unincorporated) 領域を編入して、住民の合意は欠かせないが、市域を拡大することができる。逆に、縮小(reduction of territory) もでき、他のシティに譲渡(trasfer of territory) もできる。また、2つ以上の隣接する自治体が合併(merger)することがある。

このように、住民の合意があれば、シティの境界は変更ができる。ただし、そのランクによって、手続きは相違している。

なお、シティとカウンティの間には協働契約(cooperative compact) が締結されることがある。この意図するところは、以上の境界変更、とくに編入によって、シティとカウンティの利害が対立しないためである。シティが大きくなると、カウンティの基盤が崩れるからである。シティの発展は望ましいが、無秩序に大きくなることを州が制約しようという意図がある。

2) 契約(Contracting)

地方自治体は必要に応じて、品物やサービスを提供したり調達したりのために、他の団体や個人との間で契約を交わすことができる。規模が小さい自治体では、相互依存的な関係を構築しなければならないので、契約は不可欠となる。地方自治体は、契約主体であるとされ、これらの手続を定めなくてはならない。これらのなかには、入札による調達、自治体間での契約（他のシティやカウンティ、州政府の機関、合衆国政府のエージェンシーなどとの間での契約を含む）、また、（同じカウンティの中での）ジョイント事業の展開、（他の自治体との）共同購入などがある。

3) 倫理綱領の制定

州議会によって1994年に制定された。これによると、シティもカウンティも、選挙や指名による公務員に対しては倫理綱領を定め、それに遵守させなければならない。その綱領には、行動の基準、資産状況の公表、縁者登用の規制、だれに規制を課すべきかについて明記しなければならない。

4) 文書の保管

シティはシティクラークを雇用して、いくつかの例外はあるが、行政に関わるすべての文書は、公表に備えて、保全(maintenance and safekeeping)されなければならない。すべての個人が、これにアクセスできるとされる。例外とは、個人情報や特定の企業の存続に関わる情報である。しかし、裁判所の命令によっては、これらも公開される。

5) 情報の公開

シティは行政に関わることを日常的に公開(to routinely publish information)しなければならない。公開の媒体として、行政広報ではなく、シティやカウンティに流通している信用のおける一般の新聞が利用される。たえず、定期的に関連する情報、たとえば、財政状況や制定された条例、その他の契約や物品購入などが、これらの新聞を通して、知らされるのである。

6) 法的な手続き

議会も行政委員会も、すべて公的な機関は多数決によって決定される。その議事過程の公開、あるいは非公開については基準が設けられ、それらの厳しい基準を充たせば、非公開の場合もあり得る。また、定期的な会合の他に臨時会合も、市長などが召集を行えば、開催される。

IV ホームルール

ケンタッキー州では 州法に基づいてホームルールを制定したシティは、1) そのシティの境界の中で、2) そのシティの公共の目的を促して、3) さらに州による規定や法令に抵触しない限り、いかなる権限の行使について、州は関与しないとした。ホームルール・シティになるためには、州議会によって承認を得なければならない。

カウンティも、同様にホームルールを定め、州議会の承認を得て自治権限をカウンティとして保有できる。

V シティの組織

シティは市長とカウンスル（議会）メンバー、つまり議員からなる。以下で述べるが、その組み合わせによって、いくつかのシステムができる。

市長

市長になれる条件とは、25歳以上で、有権者としての資格があり、任期中、その市域に居住し、市に関わるいかなる契約とも関係がない（利害関係がない）こととしている。なお、政党员でないことが条件(a non-partisan basis)である。任期は4年、あるいは、次の市長が決定されるまでである。12月に選挙で選ばれ、1月から任に就くことになる。第1と第2ランクのシティでは、連続3期までという制限がある。報酬が払われる。

議員

議員に立候補できる条件は、21歳以上であることを除けば、他は市長と同じである。議員も有償である。なお、市長と異なるのは、議員は選挙区ごとに選ばれることである。選挙区ごとに選挙民が等しくなるように分割される。任期は2年であるが、半分ずつ入れ替わることになる。政党员は議員になれない。

以上の市長と議員の関係によって、自治体組織の形態がいくつかに分類される。

1) 市長と議会の並立システム

市長も議会（カウンスル）の議員も選挙で選ばれる。立法はカウンスル、の行政は市長が担う分担がある。また、議会は、市長の行政を監視する立場にある。

このシステムでは、市長は市行政の執行者として、以下のような権限と義務(powers and duties)が賦与される。

- 1) 市の条例や規則、州法などを実施すること
- 2) 市の行政部門とそこでの被雇用者の管理監督
- 3) 自治体間関係の関係管理
- 4) 市行政の、カウンスルへの報告（年次報告書などを含めて）
- 5) カウンスルの反対には従わざるを得ないが、そうでない限りは、市の行政手続きを拡大すること
- 6) カウンスルの会合を仕切ること（議会の司会）、しかし、賛否が同数でない(break a tie)でない限り、カウンスルのメンバーでもなければ投票権もない。

- 7) 市の債券発行や、覚書や契約書、さまざまな文書の管理
- 8) カウンスルのスタッフを除く、すべての被雇用者の任免
- 9) 市の選挙で選ばれた、あるいは任命された職員に対する宣誓書の管理

他方、カウンスルは、一院制の立法府で、このシステムでは執行権は有しない。カウンスルの員数は、第1クラスでは定員12人、第2から第4ランクまでは、6-12人の範囲で条例で定めることができる。第5, 第6ランクは6人である。会合は月例以上にしばしば開催される。市長か多数の人たちが応じれば、臨時の開催もある。

- 1) 職員の任免、その義務や責任の範囲の確定
- 2) 歳入や予算の審議
- 3) 公衆衛生や安全管理、福祉などの規則や条例の制定
- 4) 市の行政の監視

2) コミッション・システム

コミッション (commission 行政委員会=前記モデルのカウンスルに相当する、つまり、

議会であり、その委員は議員に相当）が選挙で選ばれ、そのなかで市長が互選される。市の行政には手分けして当たることになる。コミッションは1人の市長と4人のコミッショナーからなり、法制的、経営的、行政的(legislative, executive and administrative)なパワー、つまり、執行権と立法権をすべてを有している。市長は議長の役割など名義的な役割を果たす以外に、起債の発行や契約を締結する場合の名義人としての役割を負っているが、それ以上のパワーはない。

コミッショナーが実質的な行政の中心的な役割を果たしている。2つに分けることができる。一つは、法制的と経営的な役割を果たす集団の、つまり、コミッションのメンバーとして行動することであるが、もう一つは、彼らがそれぞれ部局を担当して、行政的な仕事をそれぞれ行うことである。

コミッションとしては、

- 1) そのシステムを実効あるものにして、条例を定め、州法で適用可能な法律を実施する。
- 2) 他の地方自治体との間で、自治体間契約やジョイント事業などについて、進行管理を行う。
- 3) 部局や市職員を監督する。
- 4) 現状について報告する。
- 5) さまざまの行政的、サービスの機能を適切に区分する。
- 6) 市職員を指名する。
- 7) 健康や安全、福祉などの領域で必要な条例や規則を定めて公布する。
- 8) シティに必要な歳出を定めて、予算に必要な基金を定める。
- 9) シティの機能を効果的にするために、その手続を公表する。
- 10) 市長の代理や新しい市長の任命する。
- 11) 最初の会合で、それぞれの担当の部署を決め、必要な権限の委譲を行う。

このモデルでは、コミッショナーがそれぞれ部門を担当するが、その間にCAO(City Administrative Officer)を置くこともある。この場合は、次に述べるシティ・マネジャー・システムに近似する。

3) シティ・マネジャー・システム

コミッション・システムに似ているが、つまり、コミッション・ボード、つまり議会が名目的な市長を互選するが、実質的な市の行政は専門的なシティマネジャーに委ねている。このシステムでは、ボードが市長と4人のコミッショナーから構成される。これが立法と行政の2つの役割を果たすが、行政実務は、シティマネジャーを雇用して、それに委ねるのである。

市長はコミッション・ボードのメンバーではあるが、名義的なトップでしかない。儀礼的な役割を果たし、ボードの議長役(presiding officer)を務めるのみである。

このシステムにおけるシティマネジャーとは、ボードによって任用されるが、さまざまな制約を受けるが、それにも関わらず、以下のように大きな役割を背負うことになる。

- 1) ボードに対して、賦与された行政的な責務について直接の責任を負う。
- 2) ボードに対して、人事施策について勧告できる。
- 3) ボードによって課せられた条件のもとで、承認を得なくても、必要な人員を指名し雇用できる。
- 4) ボードに対して、予算について案件を用意し提出する。

- 5) ボードに対して、財務的な状況を助言する。
 - 6) 他の地方自治体との間で、自治体間契約やジョイント事業などについて、進行管理を行う。
 - 7) 部局や市職員を監督する。
 - 8) システムや法令、適用可能な州法を実効的にする。
 - 9) シティの機能を効果的にするために、その手続を公表する。
- 市長やボードに替わって、専門的な立場から行政を経営管理するのである。

それぞれの権限の分担は、表2を参照されたい。たとえば、一般職員の雇用は、市長一議会システムでは市長が、その他のシステムでは議会が行う。他の自治体との連携は、市長一議会システムと、コミッションシステムでは市長が、シティ・マネジャーシステムでは、シティ・マネジャーが行うとされている。

巻末にはシティの一覧を付記し、それぞれがどのような政体を採用しているかを示した。なお、これらのシステムは、住民の合意があれば、変更してもよいが、最低5年は続けなければならない。

表2 決定権限のシステムによる相違

権限	市長と議会の 並立システム	コミッション・ システム	シティマネジャー・ システム
執行権限(Executive authority)	M	C	C
被雇用者の管理(Supervise employees)	M	C	CM
職員の任命(Appoint officers)	M*	C	C
被雇用者の雇用(Hire employees)	M	C	C
被雇用者や職員の解雇(Fire officers and employees)	M	C	C
他の自治体との連携(Liaison with local government)	M	M	CM
契約の執行(Execute contracts)	M	M	M
予算の提案(Propose budget)	M	C	CM
行政手続きの公布(Promulgate administrative procedures)	M	C	CM
カウンスルの議長(Preside over council)	M	M	M
立法権限(Legislative authority)	C	C	C

オフィスの設定(Establish offices)

C C C

予算の承認(Adopt budget)

C C C

公衆衛生・治安・福祉のための条例の制定(Establish rules for public health,safety and welfare)

C C C

業務の監査(Investigate city activities)

C C C

選挙で選ばれた職員の解任(Remove elected officers)

C C C

市長代理の指名(Appoint mayor pro tem)

M C C

M : 市長、C : カウンシル、コミッション、あるいはコミッション・ボード、
CM : シティ・マネジャー

*印はCの承認を得ることが必要

VI 歳入と歳出

シティであるためには、その権限を行使できるためには、それを裏付ける歳入がなければならない。ホームルールが実質的に意味を有するためにも、自前の財源が確保されるべきである。注5)

3つの論点を整理する。これらは前述のシティのランク付けによって独自の行使できる権限の程度が相違する。その格付けが高いほど、自由裁量が大きくなり、債券も発行限度額も高くなる。

1) 財政

予算(budgets) 執行部は単年度の予算案を策定して、7月1日までに、議会がこれを承認することになる。その際、最低限、以下のようなメッセージを伝えなければならない。予算が何を目的としているのか、何が重要なのか、前年度に対して何が変化したのか、なぜ変化したのかの説明である。なお、議会は、そのまま承認することはなく、それに変更を加えることができる。

決算(accounting system) 執行部によって執行された財政は、議会によって承認されなければならない。

監査(audit) 内部監査(internal accounting control)は欠かせられないが、第6ランクの小さい自治体では隔年でよいとされる。会計年度が閉じられて以後、90日以内に報告されなければならない。それは新聞などを通じて公開される。

2) 課税

課税や使用料の徴収について、シティは歳入を確保するために、その都合に応じて定めることができる。それは2つの主たる目的からなる。一つは、通常の予算を確保するためであり、もう一つは事業を起こすためである。後者は債券の発行によることがある。また前者は課税、ライセンス供与、使用料、短期の借入れなどによっている。

3) 債券

シティの発行については、そのランクによって限度額が定められている。その範囲内で

発行できる。

なお、多くの地方自治体は、これらの案件に対応できるだけの人員や能力を備えていない。助言的に、基準を提示するところがある。Governmental Accounting Standards Board (GASB) は、非営利の独立の組織として、全国的に支援を行っている。州の機関(Department for Local Government ,Financial Services Division)も、これに関わっている。

Ⅶ 市職員

正確には市職員(City officers)と、後段で述べる被雇用者(City employees)に区分される。この区分は必ずしも明確ではないが、州法によって定義されている。大まかにいえば、オフィスを有する職員と、その職員に雇用される職員の区分である。たとえば、シェリフ(警察署長)は選挙で選ばれ、その下にあるいくつかの職位は、指名職(officers)であるが、一般の警察官は、雇用された職員(employees)である。

市職員とは、選挙で選任されるか、指名を受ける指名職員(appointed officers)のことである。彼らは、

- 1) 州憲法、州法、市条例によって決められた職分であり
- 2) 行政体の主権の一部を委譲されて
- 3) シティによって直接的にあるいは、暗黙に保証された権限と義務を有して
- 4) より上位の指示を受けなくても、それとは独立に義務を遂行しうることができる
- 5) それはある程度永続的である(任期中)
- 6) そのためには公的に宣誓をしなければならない
- 7) それは公式の委任状や権威づけられた文書によって賦与される
- 8) また、必要ならば、公債を発行できることもある。

以上には、選挙で選任される身分と、指名による身分がある。前者については、市長と議員などである。それ以外に、指名によって就任する職位がある。

兼任の禁止

禁止されない限り、同時にいくつかのシティの職員になることはできる。しかし、かなり広範囲に兼任は禁止されている。州議会を含めた州政府職員、カウntyの職員、他のミュニシパリティの職員などと兼任することはできない。他にも、たとえば、第1クラスのシティの議会議員は他の公的機関の職員にはなれないなど、詳細な規定が定められている。

条例を制定して、必要に応じて職員を指名する。この場合、その職分を定め、その権限と義務を明記し、宣誓書に署名し、シティの債権を購入し(減多にないことではある)、報酬を定めなければならない。解任に際しても、カウンスルが条例によって定めなければならない。指名職員には以下のような職分がある。

市事務職員(city clerk)

シティは、以下のような作業のためにクラークを雇用しなければならない。

- 1) シティの永久的な文書の保持(maintenance and safekeeping)
- 2) 州法によって定められた保管者(custodian)としての義務を達成すること
- 3) シティの紋章の管理
- 4) 州政府に対する年次報告

行政執行官シティマネジャー(city administrative officer=CAO)

シティ・マネジャーとほぼ同じである。しかし、カウンスルではなく執行部に対して責任を負っている。シティの区分によれば、カウンスルと執行部が同じこともあるために、その区別は明らかではない。

行政委員会構成員(members of city agencies and board)

シティが通常の部門を動員してもサービスが提供できないとき、本庁とは別個に、独立、半独立の行政委員会を立ち上げて、それを行う。その組織は市長か議会によって指名された人が行う。

被雇用者(city employees)

上記の職員が市長や議会からの権限を委譲されて、被雇用者を使うことができる。これらの雇用は原則的にカウンスルの同意を必要としない。その人たちは雇用される人たちである。彼らは、期待される成果や困難さ、スキルなどが列挙され、それに応じて評価され、グループに分けられ、それぞれの職分が明記され、必要人員が割り当てられる。それへの賃金(pay plan)についても決められる。シティの区分によって、その決め方は相違している。

VIII 広域行政

シティはそれを越えてサービスを提供しなければならないことがある。ホームルールによる閉じられたサービスを越えて、場合によっては、それと抵触しても広域の行政サービスのための機関を設立しなければならない。いくつかのシティの間で設立されることもあれば、カウンティと結びつくこともある。特別区をつくることもある。ただし、広域行政のための機関の設立はシティのランクによって制約を受ける。

以下に、それらのサービス領域について、事例を挙げて解説を試みる。

1)公共事業関係 (Public Ways and Services)

空港、橋梁、墓地、大学、工業団地、水量規制、住宅建設・都市開発、公共交通、図書館、パーキング、公園やリクレーション施設、上下水道、道路、港湾(riverport)などについて、必要であれば、シティ独自、シティ間で設立できる。

2)健康やヒューマンサービス関連(Health and Human Services)

エイズ教育、大気汚染規制、病院など。

3)規制

成人映画などの規制、アルコール販売の規制、小売業の規制(Blue Laws)、銃規制、土地開発の制限など。

4 警察・消防

地域の治安に関わっている。

なお、以上は、たとえ、ホームルールを宣言しても、シティのランクによっては設立できないことがある。たとえば、大学は第1ランクのみのシティが、ユニバーシティを税金を徴収し土地を提供し市債を発行して設立できる。第2ランクは、同じようにしてカレッジを設立できるが、それ以下はできない。

警察と消防も、第3ランクまでと、シティ=カウンティ連合自治体は設立しなければならないが、それ以下のランクでは設立のために認可されなければならない。

以上の広域に及ぶサービスは住民にとって不可欠であり、シティやシティ連合が提供で

以上の広域に及ぶサービスは住民にとって不可欠であり、シティやシティ連合が提供できなければ、カウンティのサービスを受けることになる。

なお、小規模なものも当然含めて、シティだけでは、政治的にも発言できないし、職員の資質の向上などについても不足が生じる。これらのために、シティが連合してリーグをつくっている(Kentucky League of Cities)。他州にも設置され、全国組織もある。注6)

さらにまた、小規模自治体が多くあるということで、州政府は、それを支援するための、あるいは監督するための機関を置いている。州政府の中の、知事直轄の地方自治担当局(Office of the Governor, Department for Local Government)である。注7)

IX カウンティとの関係

シティとカウンティが並立している状態は、それがサービスを分担して提供している場合でも、効率的に問題があるとされている。とくに都市部のシティとカウンティは重複サービスのこともある。それで考えられたことは、シティとカウンティの統合(city-county consolidation)である。すでにレキシントンとファエット・カウンティは統合している。

それ以外にもフランクフルトとフランクリン・カウンティなどが議論されている。州内最大の都市であるルイビルとジェファーソン・カウンティは、住民投票で是非が問われたが、合併は否決されたが、その後、カウンティの住民の合意を得て、2003年1月3日を期して、ルイビル/ジェファーソンカウンティ・メトロ政府(Louisville/Jefferson County MetroGovernment)が成立した。注5) 概して、市外の、周辺シティやカウンティの住民が統合に反対するというのは、インナーシティを含めると、郊外住民に対して行われていたサービスの水準が低下することを恐れているためである。注8)

なお、ルイビルの統合は、州内で唯一第一位のシティがカウンティと合体するので、州政府との権限関係が変更されるので、合わせてさまざまな立法的な措置がとられた。

X 要約

ケンタッキー州の地方自治の大きな特徴は、シティをその規模に応じてランク分けをそて、そのランクによって、さまざまな権能に相違があることである。他州に比べると、カウンティの権限が大きいので、ランクの低い自治体ほど、カウンティへの依存は大きい。さらに、小規模の自治体が多いために、自治体間でネットワーク的にさまざまな連携のシステムが発達している。広域行政という論点からの理解がないと、地方行政の実態が理解できない。注9)

注1) 本論考は、ケンタッキー州立大学レキシントン校カラン(P.P.Karan)教授の支援によっている。

注2) ケンタッキー州の、とくに地理学的な特徴については、Karan, P. P.ed. Kentucky : A Regional Geography, Kendall/Hunt Publishing ,1973に詳しい。

注3) 本論に記載された情報の多くは、2001年11月ケンタッキー州レキシントンに滞在時に、諸般から得た資料によっている。地方自治体の紹介の大枠は、Legislative Research Commissionによる Kentucky Municipal Statutory Law revised,2000によったが、そ

の後、部分的には、2003年2月に発刊された最新版(revised,2002)によって補正した。その全体は、<http://www.lrc.state.ky.us>で知ることができる。

注4) カウンティに関する記載は、County Government in Kentucky Revised 1998によっている。

注5) 2001 City Budget Workshop edited by Department for Local Governmentによる。なお、最近の情報については、<http://www.kylocalgov.com>によって確認したが、大きな変更はない。

注6) シティ・リーグについては <http://www.klc.org> によって事業内容を知ることができる。広報活動や研修、調査事業などを行い、他州のリーグとほぼ同じである。

注7) 入手した資料の多くはここから得た。Director の L.Campbell 氏、カウンティ担当の T.Bobson 氏、シティ&特別区担当の R.O.Brown 氏には、拙い質問にも答えていただくなど非常にお世話になった。

注8) ルイビルとジェファーソン・カウンティの統合は、2003年4月にレキシントンを訪れた折、カラン教授より聞かされ、帰国の後に <http://www.loukymetro.org> で確認した。2001年秋、筆者が滞在当時、すでに、(サービスの質の低下を危惧する) カウンティの住民による拒否的な対応があり、州内で政治問題化していたが、当時、ケンタッキー・シティ連合の T.Ryen 氏は、やがて統合に向かうであろうと楽観的な見方であったが、そのとおりになった。行政サービスの重複をなくするということでは、地方自治体の行政改革として有力な方式なのであろう。

注9) カウンティに関する情報、シティ間の連携に関する情報などが多いが、特別区に関する情報は極めて少ない。合衆国全体として特別区の占める重要性は大きいはずであるが、今後の資料探索の課題としたい。

次頁以降に付表として、ケンタッキー州のシティをランク順にまとめた。
シティの名称と、人口、所属するカウンティ、政治形態の順に記載している。

なお、以下の付表で*は人口について推計値である。前年度以後の更新がないために、前年度の数値を用いている。+印は、シティ・カウンティ統合でジェファーソン・カウンティなどに併合されることになっている、あるいは他のカウンティに組み入れられるなどの変更があるとされるシティである。

APPENDIX I

July, 2002
(Based on 2000 pop. census est.)

KENTUCKY CITIES BY CLASS

City	Population	County	Form
1st Class (Greater than 100,000)			
Louisville	256,231	Jefferson	MA
Total # in class	1		
Total population in class	256,231		
2nd Class (Greater than 20,000, less than 100,000)			
Ashland	21,981	Boyd	CM
Bowling Green	49,296	Warren	CM
Covington	43,370	Kenton	CM
Frankfort	27,741	Franklin	CM
*Henderson	27,373	Henderson	CM
Hopkinsville	30,089	Christian	MC
*Jeffersonton	26,633	Jefferson	MC
*Lexington	260,512	Fayette	UCG
*Newport	17,048	Campbell	CM
Owensboro	54,067	Daviess	CM
Paducah	26,307	McCracken	CM
*Radcliff	21,961	Hardin	MC
Richmond	27,152	Madison	CM
Total # in class	13		
Total population in class	633,530		
3rd Class (Greater than 8,000, less than 20,000)			
Campbellsville	10,498	Taylor	MC
*Corbin	7,742	Whitley & Knox	CM
Danville	15,477	Boyle	CM
Erlanger	16,676	Kenton	MC

*Flatwoods	7,605	Greenup	MC
Florence	23,551	Boone	MC
Glasgow	13,019	Barren	MC
*Hazard	4,806	Perry	CM
*Independence	14,982	Kenton	MC
Mayfield	10,349	Graves	MC
*Maysville	8,993	Mason	CM
Middlesboro	10,384	Bell	MC
Murray	14,950	Calloway	MC
Nicholasville	19,680	Jessamine	COMM
Paris	9,183	Bourbon	CM
*Pikeville	6,295	Pike	CM
Shively	15,157	Jefferson	MC
Somerset	11,352	Pulaski	MC
Winchester	16,724	Clark	CM
Total # in class	19		
Total population in class	237,423		
4th Class (Greater than 3,000, less than 8,000)			
Albany	2,220	Clinton	MC
Alexandria	8,286	Campbell	MC
*Anchorage	2,264	Jefferson	MC
*Augusta	1,204	Bracken	MC
Barbourville	3,589	Knox	MC
Bardstown	10,374	Nelson	MC
*Beaver Dam	3,033	Ohio	COMM
Bellevue	6,480	Campbell	MC
Benton	4,197	Marshall	MC
*Berea	9,851	Madison	MC
*Calvert City	2,701	Marshall	MC
*Carlisle	1,917	Nicholas	MC
Carrollton	3,846	Carroll	MC
*Cattlettsburg	1,960	Boyd	MC
Cave City	1,880	Barren	MC
Central City	5,893	Muhlenberg	MC
Columbia	4,014	Adair	MC
Crescent Springs	3,931	Kenton	MC
Cumberland	2,611	Harlan	MC
Cynthiana	6,258	Harrison	COMM
Dawson Springs	2,980	Hopkins	MC

Dayton	5,966	Campbell	MC
Douglas Hills	5,718	Jefferson	MC
*Earlington	1,649	Hopkins	MC
*Edgewood	9,400	Kenton	MC
*Elizabethtown	22,542	Hardin	MC
*Elkhorn City	1,060	Pike	MC
*Elkton	1,984	Todd	MC
Elsmere	8,139	Kenton	MC
*Eminence	2,231	Henry	MC
*Falmouth	2,058	Pendleton	MC
Flemingsburg	3,010	Fleming	MC
Fort Mitchell	8,089	Kenton	MC
*Fort Thomas	16,495	Campbell	MC
Fort Wright	5,681	Kenton	MC
Franklin	7,996	Simpson	CM
Fulton	2,775	Fulton	CM
*Georgetown	18,080	Scott	MC
Graymoor-Devondale	2,925	Jefferson	
Grayson	3,877	Carter	MC
Greenville	4,498	Muhlenberg	MC
Guthrie	1,469	Todd	MC
*Harlan	2,081	Harlan	MC
Harrodsburg	8,014	Mercer	COMM
*Hickman	2,560	Fulton	CM
Highland Heights	6,554	Campbell	MC
Hillview	7,037	Bullitt	MC
*Hodgenville	2,874	Lane	MC
Horse Cave	2,252	Hart	MC
Hurstbourne	3,884	Jefferson	COMM
*+Indian Hills	2,882	Jefferson	MC
*Irvine	2,843	Estill	MC
*Jackson	2,490	Breathitt	MC
*Jenkins	2,401	Leitch	MC
LaGrange	5,676	Oldham	MC
Lawrenceburg	9,014	Anderson	MC
Lebanon	5,718	Marion	MC
Leitchfield	6,139	Grayson	MC
London	5,692	Laurel	MC
Lndlow	4,409	Kenton	MC
*Lyndon	9,369	Jefferson	MC
*Madisonville	19,307	Hopkins	MC
*Manchester	1,738	Clay	MC
Marion	3,196	Crittenden	MC

*Martin	633	Floyd	MC
Middletown	5,744	Jefferson	COMM
Monticello	5,981	Wayne	MC
*Morehead	5,914	Rowan	MC
Morganfield	3,494	Union	MC
Mount Sterling	5,876	Montgomery	MC
Mount Washington	8,485	Bullitt	MC
Oak Grove	7,064	Christian	MC
*Olive Hill	1,813	Carter	MC
*Owingsville	1,488	Bath	MC
Painitsville	4,132	Johnson	MC
Park Hills	2,977	Kenton	MC
*Pineville	2,093	Bell	MC
Pioneer Village	2,555	Bullitt	MC
Prestonsburg	3,612	Floyd	MC
Princeton	6,536	Caldwell	MC
*Prospect	4,657	Jefferson	MC
Providence	3,611	Webster	MC
Russell	3,645	Greenup	MC
Russellville	7,149	Logan	MC
*Saint Regis Park	1,520	Jefferson	MC
*Salersville	1,604	Magoffin	MC
Scottsville	4,327	Allen	MC
Shelbyville	10,085	Shelby	MC
Shepherdsville	8,334	Bullitt	MC
Southgate	3,472	Campbell	MC
*Springfield	2,634	Washington	MC
*St. Matthews	17,320	Jefferson	MC
Stanford	3,430	Lincoln	MC
*Stanton	3,029	Powell	MC
*Sturgis	2,030	Union	MC
Taylor Mill	6,913	Kenton	COMM
*Vanceburg	1,731	Lewis	MC
Versailles	7,511	Woodford	MC
Villa Hills	7,948	Kenton	MC
Vine Grove	4,169	Hardin	MC
*West Liberty	3,277	Morgan	MC
Williamsburg	6,074	Whitley	MC
Wilmore	5,143	Jessamine	MC
Total # in class	100		
Total population in class	524,272		

5th Class (Greater than 1,000, less than 3,000)			
*Adairville	920	Logan	MC
Auburn	1,444	Logan	MC
Audubon Park	1,545	Jefferson	MC
Barbourmeade	1,260	Jefferson	COMM
*Bartwell	799	Carlisle	MC
Beattyville	1,193	Lee	MC
Beechwood Village	1,173	Jefferson	MC
*Benham	599	Harlan	MC
*Bloomfield	855	Nelson	MC
Brandenburg	2,049	Meade	MC
Brodhead	1,193	Rockcastle	MC
*Bromley	838	Kenton	MC
*Brooksville	589	Bracken	MC
*Brownsville	921	Edmonson	COMM
*Burgin	874	Mercer	MC
Burkesville	1,756	Cumberland	MC
Burnside	637	Pulaski	MC
*Butler	613	Pendleton	COMM
Cadiz	2,373	Trigg	MC
Calhoun	836	McLean	MC
Camargo	923	Montgomery	MC
*Campbellsburg	705	Henry	MC
Clay	1,179	Webster	MC
Clay City	1,303	Powell	MC
Clinton	1,415	Hickman	MC
Cloverport	1,256	Breckinridge	MC
Cold Spring	3,806	Campbell	MC
*Columbus	229	Hickman	MC
*Corydon	744	Henderson	MC
Crestview Hills	2,889	Kenton	MC
Crestwood	1,999	Oldham	MC
*Crittenden	2,401	Grant	MC
*Crofton	838	Christian	MC
*Drakesboro	627	Muhlenberg	MC
Dry Ridge	1,995	Grant	MC
Eddyville	2,350	Lyon	MC
Edmonton	1,586	Metcalfe	MC
Evarts	1,101	Harlan	MC
*Ferguson	881	Pulaski	MC
*Fleming-Neon	840	Letcher	MC

*Fredonia	420	Caldwell	MC
*Grand Rivers	343	Livingston	MC
Greensburg	2,396	Green	MC
Greenup	1,198	Greenup	MC
*Hardin	564	Marshall	MC
Hardinsburg	2,345	Breckinridge	MC
Hartford	2,570	Ohio	MC
Hawesville	971	Hancock	MC
Hebron Estates	1,104	Bullitt	MC
*Hindman	787	Knott	MC
Hollow Creek	815	Jefferson	MC
Hurstbourne Acres	1,504	Jefferson	COMM
*Hustonsville	347	Lincoln	MC
+Indian Hills-Cherokee		Jefferson	MC
Irvington	1,257	Breckinridge	MC
Janestown	1,624	Russell	MC
Jeffersonville	1,804	Montgomery	MC
Junction City	2,184	Boyle	MC
*Kuttawa	596	Lyon	MC
La Center	1,038	Ballard	MC
*Lakeside Park	2,869	Kenton	MC
*Lancaster	3,734	Garrard	MC
Lebanon Junction	1,801	Bullitt	MC
*Lewisburg	903	Logan	MC
Lewisport	1,639	Hancock	MC
Liberty	1,850	Casey	MC
Livermore	1,482	McLean	MC
Louisa	2,018	Lawrence	MC
Loyall	766	Harlan	MC
Lynch	900	Harlan	MC
Lynnview	965	Jefferson	MC
*McKee	878	Jackson	MC
*Meadow Vale	765	Jefferson	MC
Midway	1,620	Woodford	MC
*Millersburg	842	Bourbon	MC
Minor Lane Heights	1,435	Jefferson	MC
Morgantown	2,544	Butler	MC
*Morton's Gap	952	Hopkins	MC
*Mt. Olivet	289	Robertson	MC
Mt. Vernon	2,592	Rockcastle	MC
Muldraugh	1,298	Meade	MC
Munfordville	1,563	Hart	MC
New Castle	919	Henry	COMM

*North Middletown	562	Bourbon	COMM
*Northfield	970	Jefferson	MC
Nortonville	1,264	Hopkins	MC
Orchard Grass Hills	1,031	Oldham	MC
Owenton	1,387	Owen	MC
*Park City	517	Barren	MC
*Perryville	763	Boyle	MC
Pewee Valley	1,436	Oldham	MC
*Plantation	902	Jefferson	MC
*Powderly	846	Muhlenberg	MC
Raceland	2,355	Greenup	MC
*Ravenna	693	Estill	MC
Rolling Hills	907	Jefferson	MC
Russell Springs	2,399	Russell	MC
*Sandy Hook	678	Elliott	MC
Sebree	1,558	Webster	MC
Silver Grove	1,215	Campbell	MC
Simpsonville	1,281	Shelby	MC
Smiths Grove	784	Warren	COMM
South Shore	1,226	Greenup	COMM
Tompkinsville	2,660	Monroe	MC
*Union	2,893	Boone	COMM
Uniontown	1,064	Union	MC
Walton	2,450	Boone	MC
Warsaw	1,811	Gallatin	MC
Waterson Park	953	Jefferson	MC
West Buechel	1,301	Jefferson	MC
West Point	1,100	Hardin	MC
Whitesburg	1,600	Letcher	MC
White Plains	800	Hopkin	COMM
*Wickliffe	794	Ballard	MC
*Wilder	2,624	Campbell	MC
*Williamstown	3,227	Grant	MC
Windy Hills	2,480	Jefferson	MC
Woodlawn Park	1,033	Jefferson	MC
Worthington	1,673	Greenup	MC
Total # in class	118		
Total population in class	161,312		
6th Class (Less than 1,000)			
Allen	150	Floyd	MC

Arlington	395	Carlisle	MC
Bancroft	536	Jefferson	COMM
Barlow	715	Ballard	COMM
Bedford	677	Trimble	MC
Bellefonte	837	Greenup	MC
Bellemeade	871	Jefferson	COMM
Bellewood	300	Jefferson	MC
Berry	310	Harrison	MC
Blackey	153	Letcher	COMM
Blaine	245	Lawrence	MC
Bluebridge Manor	623	Jefferson	COMM
Bonnieville	354	Hart	COMM
Booneville	111	Owsley	COMM
Bradfordville	304	Marion	MC
Bremen	365	Muhlenberg	MC
Briarwood	554	Jefferson	COMM
+Broadfields		Jefferson	
Broeck Pointe	294	Jefferson	MC
Brownsboro Farm	676	Jefferson	COMM
Brownsboro Village	318	Jefferson	COMM
Buckhorn	144	Perry	
California	86	Campbell	
Cambridge	192	Jefferson	
Campton	424	Wolfe	COMM
Caneyville	627	Grayson	MC
Carsville	64	Livingston	MC
Centertown	416	Ohio	COMM
+Cherrywood Village		Jefferson	
Clarkson	794	Grayson	COMM
Coal Run Village	577	Pike	COMM
Coldstream	956	Jefferson	
Concord	28	Lewis	MC
Corinth	181	Grant	COMM
Crab Orchard	842	Lincoln	COMM
Creekside	336	Jefferson	MC
+Crescent Park		Kenton	
Crestview	471	Campbell	COMM
Crossgate	251	Jefferson	MC
Dixon	532	Webster	COMM
Dover	316	Mason	COMM
Druid Hills	318	Jefferson	MC
Ekron	170	Meade	
Eubank	358	Pulaski	COMM

Ewing	278	Fleming	COMM
Fairfield	72	Nelson	
+Fairmeade		Jefferson	
Fairview	156	Kenton	MC
Fincastle	825	Jefferson	COMM
Fordsville	531	Ohio	MC
Forest Hills	494	Jefferson	COMM
Fountain Run	236	Monroe	MC
Fox Chase	476	Bullitt	MC
Frenchburg	551	Menifee	COMM
Gamaliel	439	Monroe	MC
Germantown	190	Bracken	COMM
Ghent	371	Carroll	
Glencoe	251	Gallatin	MC
Glenview	558	Jefferson	
Glenview Hills	337	Jefferson	COMM
Glenview Manor	191	Jefferson	
Goose Creek	272	Jefferson	COMM
Goshen	907	Oldham	
Gratz	89	Owen	
Green Spring	759	Jefferson	
Hanson	625	Hopkins	COMM
Hazel	440	Calloway	MC
Hickory Hill	144	Jefferson	COMM
Hills and Dales	153	Jefferson	
Hiseville	224	Barren	
Hollyvilla	481	Jefferson	
Houston Acres	491	Jefferson	COMM
Hunters Hollow	372	Bullitt	MC
Hyden	204	Leslie	COMM
Inez	466	Martin	COMM
Island	435	McLean	
+Keeneland		Jefferson	
Kenton Vale	156	Kenton	MC
Kevil	574	Ballard	MC
Kingsley	428	Jefferson	
Lafayette	251	Christian	
Lakeview Heights	301	Rowan	COMM
Langdon Place	974	Jefferson	COMM
Latonia Lakes	325	Kenton	
Lincolnshire	154	Jefferson	
Livingston	228	Rockcastle	
Lone Oak	454	McCracken	COMM

Loretto	623	Marion	MC
Mackville	200	Washington	
Manor Creek	221	Jefferson	COMM
Maryhill Estates	175	Jefferson	
McHenry	417	Ohio	MC
Meadowbrook Farm	146	Jefferson	COMM
Meadowview Estates	422	Jefferson	COMM
Melbourne	457	Campbell	
Mentor	181	Campbell	MC
Milton	525	Trimble	
Mockingbird Valley	190	Jefferson	
Monterey	167	Owen	
Moorland	464	Jefferson	
Murray Hill	616	Jefferson	
Nebo	220	Hopkins	COMM
New Haven	849	Nelson	COMM
Norbourne Estates	461	Jefferson	
Norwood	395	Jefferson	
Oakland	260	Warren	MC
Old Brownsboro Place	384	Jefferson	
Park Lake	537	Oldham	
Parkway Village	715	Jefferson	COMM
Pembroke	797	Christian	COMM
Pippa Passes	297	Knott	
Pleasureville	869	Henry	
Plum Springs	447	Warren	
+Plymouth Village		Jefferson	
Poplar Hills	396	Jefferson	
Prestonsville	164	Carroll	
Raywick	144	Marion	
Richlawn	454	Jefferson	MC
River Bluff	402	Oldham	
Riverwood	469	Jefferson	COMM
+Robinswood		Jefferson	
Rochester	186	Butler	MC
Rockport	334	Ohio	MC
Rolling Fields	648	Jefferson	MC
Ryland Heights	799	Kenton	MC
Sacramento	517	McLean	
Sadieville	263	Scott	COMM
Salem	769	Livingston	COMM
Salt Lick	342	Bath	MC
Sanders	246	Carroll	

Sardis	149	Mason	MC
Science Hill	634	Pulaski	MC
Seneca Gardens	699	Jefferson	MC
Sharpsburg	295	Bath	MC
Slaughters	238	Webster	MC
Smithfield	102	Henry	COMM
Smithland	401	Livingston	COMM
Sonora	350	Hardin	MC
South Carrollton	184	Muhlenberg	MC
South Park View	196	Jefferson	MC
Sparta	230	Gallatin	MC
+Springlee		Jefferson	COMM
Spring Mill	380	Jefferson	MC
Spring Valley	668	Jefferson	COMM
St. Charles	309	Hopkins	MC
Stamping Ground	566	Scott	MC
Strathmoor Manor	333	Jefferson	COMM
Strathmoor Village	625	Jefferson	NA
Sycamore	159	Jefferson	MC
*Taylorsville	1,009	Spencer	MC
Ten Broeck	129	Jefferson	COMM
Thornhill	175	Jefferson	COMM
Trenton	419	Todd	MC
Upton	654	Hardin/Larue	MC
Vico	318	Perry	MC
Wallins	257	Harlan	MC
Warfield	284	Martin	MC
Water Valley	316	Graves	COMM
Waverly	297	Union	MC
Wayland	298	Floyd	COMM
Wellington	561	Jefferson	COMM
Westwood	612	Jefferson	COMM
Wheatcroft	173	Webster	COMM
*Wheelwright	1,042	Floyd	COMM
Whipps Millgate	415	Jefferson	MC
Whitesville	632	Davies	MC
Wildwood	247	Jefferson	MC
Willisburg	304	Washington	MC
+Winding Falls		Jefferson	COMM
Wingo	581	Graves	MC
Woodburn	323	Warren	MC
Woodbury	87	Butler	COMM
Woodland Hills	657	Jefferson	MC

Woodlawn	268	Campbell	MC
*Worthington Hills	1,594	Jefferson	COMM
Worthington	215	Carroll	COMM
*Wurmland	1,049	Greenup	COMM
Total # in class	170		
Total population in class	73,447		